

ローマの有名人

チューリッヒ スイス

1955年06月21日

1 こんばんは、皆さん。

本日このように皆さんの前に立ち、主イエス・キリストの御名によって語れることを、心から感謝いたします。

私たちは信じています——主が今夜、私たちと共におられることを。

では、御言葉に近づく前に、ひととき祈りをささげましょう。

天の父なる神様——

私たちは今、あなたの愛する御子、主イエス・キリストの御名によって、御前にまいりました。

心から、あなたを愛しています。

あなたを尊び、感謝いたします。

どうか今夜、この場所において、

救われていない魂を救い、

病める者、助けを必要としている者たちに、癒しと慰めを与えてください。

そしてこの建物をあとにする時、

かつてエマオの道を歩いた弟子たちのように、

私たちもこう言えますように——

「あの時、主が共におられたからこそ、

私たちの心は燃えていたではないか！」

どうか今夜、いつもとは少し違う、特別な何かを私たちに見せてください

、父よ。人々が知ることができるよう——

神の御子は死よりよみがえられ、

今なお生きて、私たちのただ中におられるということ。

このすべてを、愛する主の御名によってお祈りいたします。

アーメン。

(それでは、聖書朗読に入ります。)

[マルコによる福音書7章1節～10節より]

さて、パリサイ人たちと数人の律法学者がエルサレムからやって来て、

イエスのもとに集まった。

そして彼らは、イエスの弟子のうちの何人かが、汚れた

(すなわち洗わない)手でパンを食べているのを見て、責めた。

(パリサイ人とユダヤ人はみな、長老たちの伝承を守っていて、

しばしば手を洗わない限り、食事をしない。)

また、市場から帰った時には必ず洗ってから食べる。

このほかにも、杯や鉢や銅の器や寝台を洗うなど、

多くのことを受け継いで守っている。

それでパリサイ人と律法学者たちはイエスに尋ねた。

「なぜ、あなたの弟子たちは長老たちの伝承に従って歩まず、

汚れた手でパンを食べるのですか？」

イエスは彼らに答えて言われた——

「イザヤが、あなたがた偽善者について預言したのは、まさに見事である。

『この民は口先ではわたしを敬うが、

その心はわたしから遠く離れている。』

彼らはむなしくわたしを礼拝している。

人間の戒めを教えとして教えるからである。

神の命令をないがしろにして、

あなたがたは人間の伝統を守っているのだ——

たとえば、杯や鉢の洗いなど。あなたがたは他にも、

これと同じような多くのことを行っている。」

さらにイエスは言われた。

「あなたがたは、自分たちの伝統を守るために、

神の命令をうまく無視している。

たとえば、モーセはこう言った——

『父と母を敬え。』

また、『父または母をののしる者は、必ず死ななければならない。』」

2 主が、この御言葉の朗読に祝福を添えてくださいますように。

今夜は、少し遅れてしまって申し訳ありません。

今日は一日中、天気が悪く、雨も降って大変でしたね。

さて、明日ですが——祈りを求めておられる方々には、

早めにアリーナにお越しくださるようお願いいたします。

前方の座席は、そのために午後6時以降、自由に座れるように確保されています。

混雑する前に、ぜひお入りください。

今夜はおそらく祈りのカードは配られていないかもしれませんが、

明日の夜、主が許してくだされば、病める方々のために祈ります。

ですから、祈りのカードを受け取ることを願っている方々は、

午後6時から7時の間にアリーナにお入りになり、座席についてお待ちください。

さて、今夜はある偉大な出来事についてお話ししたいと思います。

それは、ひとりの貴人(きじん)——身分ある人——の物語です。

彼は異邦人でしたので、ユダヤの宗教について多くを知っていたわけではありません。

けれども、イエス様のことは耳にしていたのです。

そして、彼のしもべが重い病にかかっていた——

そのしもべがユダヤ人であろうと異邦人であろうと、彼は関係なく、

キリストに信仰を抱いて、イエス様をお招きしたのです。

3 私は、皆さんにぜひこのローマ人の態度に注目していただきたいのです。

彼は、決して「自分には当然それを受け取る資格がある」とは思っていませんでした。

むしろ、「自分にはその価値がない」——そういう心で近づいてきたのです。

どうか、皆さんもそのような心で来てください。

神から何かを受けたいと願う時、

高ぶった態度では決して受け取ることはできません。

神のもとに来るには、敬意をもって、へりくだって来なければならないのです。

その時、神は皆さんにお取り扱いくださり、

そして、願ったものを受け取ることができるのです。

このローマの百人隊長——

彼が取った態度を、見てみてください。

彼が主イエスにどう近づいたか——

彼はこう言いました：

「わたしは、あなたを自分の家にお迎えするにふさわしい者ではありません。

だから、あなたのところに自分から出向くことも失礼にあたると思いました。

ただ、ひと言、お言葉をお与えください。」

そしてこうも言いました：

「私は権威のもとにある者で、

兵士に『行け』といえは行き、『来い』といえは来ます。」

つまり、「あなたも、ただお言葉をおっしゃってください。それだけで、私の僕(しもべ)は癒されます」——と。

私は、ここに注目してほしいのです。

このローマ人は、権威の下に生きる者として、

自分の命令に従わなければならない者たちがいることを、よくわかっていました。

彼は、その理解をもとに——

「イエス・キリストは、すべての病の上に立っておられるお方だ」と信じていたのです。

彼にとって、病とは――

イエス様の御言葉ひとつで、従わねばならない存在だったのです。

兵士が命令に逆らえば、死刑に値する。

それほどの権威を自分が持っていると感じていたこの百人隊長は、

その同じ権威がイエス様にあると、はっきりと認めたのです。

だからこそ、彼は言ったのです：

「ただ、お言葉をお与えください。」

4 皆さん、思い出していただきたいのですが――

イエス様がヤイロの娘を癒しに行かれたときのことです。

ヤイロはユダヤ人でした。

彼は人に手を置いて祈るという教えを受けて育ったのです。

ですから彼はこう言いました：

「来て、私の娘に御手を置いてください。そうすれば、娘は生きます。」

それが彼の信じ方だったのです。

一方、異邦人の百人隊長は、

「**権威と命令による力**」を信じていました。

この違い――

それは“何を信じているか”によって異なるのです。

どちらの信仰も、キリストに置かれていました。

ひとりはどう言いました：

「お言葉をください。そうすれば成し遂げられます。」

もうひとりはどう言いました：

「御手を置いてください。そうすれば癒されます。」

ご覧なさい――

すべては“あなたがどう信じているか”によるのです。

今夜、ここに集っておられる皆さんにも、それは同じことです。

多くの人々が、病人のために祈るとき、

その祈る人に癒しの力があると思込んでしまっているのです。

しかし、それは誤りです。

癒しをなさるのは、ただ主イエス・キリストおひとりです。

カルバリーの十字架において、

主は全世界の罪と病の代価をすでに支払ってくださいました。

そして、「誰でも」、
その贖いの力を信じる者は、
願うものを受け取ることができるのです。

問題はどこにあるのでしょうか？

それは、私たち人間の側——信仰の欠如にあるのです。

5 主イエスがこの地上で肉体をもっておられた時代——

人々はこう言いました。

「この人は、病を癒すことができる。」

けれども、ある人の罪を赦されたときには、彼らはこう言ったのです。

「そんなことはできるはずがない。」

——その考え方を、悪魔はまんまと逆転させたのです。

今、人々はこう言います。

「罪は赦されるかもしれないが、病は癒せない。」

ちょうど逆になってしまっているのです。

けれど、イエス・キリストは——

神のご命令のもとに十字架にかかって死なれたのです。

聖書ははっきりとこう語っています：

「彼は私たちの咎(とが)のために傷つけられ、

その打たれた傷によって、私たちは癒された。」

(イザヤ書53章より)

これは、すべての信じる者に与えられた、個人的な権利なのです。

あなたにも、信じる権利があるのです。

私はここに、皆さんを欺くために来たものではありません。

私は、聖書のゆえにここに来たのです。

この御言葉を、皆さんにまっすぐに宣べ伝えるために。

そして、神ご自身がここにおられ、

この聖書に記された通りのしるしをもって、

皆さんが理解できるように働いてくださっているのです。

6 私は、今もなおイエス・キリストが癒し主であられると信じています。

昔もそうであったように、今も、そして永遠に変わらないのです。

聖書はこう言っています：

「イエス・キリストは、昨日も、今日も、いつまでも変わることはない。」

もし主が、あの時代に癒すことがおできになったのであれば——

今も癒すことがおできになります。

そしてもし明日があるなら、

主は明日も癒してくださるのです。

主が昨日、罪から救ってくださったなら、

今日も罪から救ってくださり、明日も救ってくださいます。

しかし、これらすべては——

カルバリー(十字架)で成し遂げられたことなのです。

すべての問題は、十字架において決着がついたのです。

7 さて——

もしイエス様が死からよみがえられたのなら——

私たちが聖書から教えられている通りであるならば、

聖書は真実か、そうでないかのどちらかです。

しかし、聖書はこう語っています：

「イエス・キリストは、昨日も今日も、永遠に変わらない。」

もしそれが真実であるなら——

主は今も、原則においても、力においても、救いにおいても、

癒しにおいても、まったく変わらないお方です。

昨日なされたことを、今日もなされる。

主のすべての力とすべての御業をもって、

今日も同じように働いておられるのです。

なぜなら、主は死んではおられない。

主は死よりよみがえられ、今も生きておられるからです。

そして、十字架にかかる前に、主はこう語られました：

「全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい。

信じてバプテスマを受ける者は救われるが、信じない者は罪に定められる。」

(マルコの福音書16章より)

——多くの牧師は、ここで語るのを止めてしまいます。

けれど、イエス様はその続きを語られたのです。

「信じる者には、このようなしるしが伴う。

わたしの名によって悪霊を追い出し……」

そしてさらにこうも語られました：

「病人に手を置けば、彼らは癒される。」

聖書が記された最初の2～3世紀の間、

これらのしるしは確かに信じる者たちに伴っていたのです。

ところが——

2代目、3代目の使徒たちの時代を過ぎたあたりから、
教会は分派し、組織化され、兄弟姉妹の交わりはロッジ
(会員制クラブ)のようになってしまった。

そして、彼らは福音の一部を切り捨て、
ついには——

福音そのものが、ほとんどすべて切り取られてしまったのです。

8 今夜、私は皆さんにはっきりと宣言します。

聖書は、いつの時代においても変わることのない、聖なる、真実の御言葉であるということ。

私は、自分の魂と人生を、聖書のどの一節にも全く委ねる覚悟があります。

私は、この御言葉を信じています。

それは、神の靈感によって与えられたものです。

そして、主イエスがこの地上におられたとき——

皆さん、どうか誤解なさらないでください。

主は決して、「自分の思うままに何でもできる特別な人物だ」と名乗られたわけではないのです。

ヨハネの福音書5章19節にこうあります：

「子は、自分からは何もすることができません。

父がなさるのを見てから、それと同じことを行うのです。」

つまり——

主が行われた御業は、父なる神が御子に示された「幻(ビジョン)」に基づくものだったのです。

どうか、聖書を調べてみてください。

明日でも結構です。

預言者たちの中に、あるいはどんな人物であれ、

「自分の中に力がある」と言って自ら進んで奇跡を行おうとした者が一人でもいたでしょうか？

——いいえ、一人もいません。

神がその都度、何をなすべきかを幻で示されたのです。

イエス様もまた、地上におられたとき——

群衆の中を見渡され、その中で信仰を持つ者たちにこう宣言されました。

「あなたの信仰が、あなたを癒したのです。」

主の奇跡は、信じる者の信仰に応じて現されたのです。

9 主イエスのもとにプレイヤーラインで人々が来たとき、

主はその人が何に悩んでいるかをご存じでした。

そして主はこう言われたのです：

「わたしが行くこれらの業を、あなたがたも行う。

それ以上のこともするようになる。

わたしは父のもとへ行くからだ。」

さらに主は言われました：

「しばらくすると、この世はもはやわたしを見ない。

しかし、あなたがたはわたしを見る。」

ここで、主は二つのグループをはっきりと分けておられます。

ひとつは、“この世”——つまり不信仰な人々。

彼らはもう、決して主を見ることはない。

しかし、主は「**あなたがたは見る**」と仰せられました。

それは、信じる者たちのことです。

なぜなら主は、こうも語られたからです：

「わたしはあなたがたと共にいる。いや、あなたがたのうちにいる。

この世の終わりまで、ずっと。」

——これこそが、主イエスが「昨日も、今日も、永遠に変わらない」

お方である証しではありませんか？

主は今、聖霊としてここにおられるのです。

私たちは今、驚くべき時代に生きているのです。

それは、主イエスの再臨がまさに近づいている時代。

私はこのことを、皆さんを怖がらせるために語っているわけではありません。

もしあなたの心が神と正しい関係にあるのなら——

主が来られるという知らせは、あなたにとって恐れではなく、

喜びとなるはずです。

10 イエス様が再び来られるとき——

あなたは、もはや一人として、足の不自由な人を見ることはありません。

すべての老人、老婦人も——

再び、若い男と女に変えられるのです。

あなたに老いをもたらしたのは、“死”なのです。

——ああ、もし私があなたの言葉を話すことができたら！

どれほど、聖書の中でこの真理をお見せしたいことでしょう。

でも今は、通訳を通して話すしかなく、時間が二倍かかってしまいます。

どうか、ご理解ください。

私はすべてを、主イエス・キリストに信頼して委ねています。

どうか今夜、聖霊がこの場所に注がれ、

私が語っていることが真実であると、

主ご自身が証してくださいますように。

さあ、よく耳を傾けてください。

(※少年がここに看板を出しました。「プレイヤーカードが今夜も配られましたので、これからプレイヤーラインに入ります」とのことです。)

11 さて、あなたに少しだけ尋ねたいことがあります。

私は、ある意味では——あなたがたにとって見知らぬ者です。

何千マイルも離れた場所から来ました。

招待されて、ここに来たのです。

私の国では、先日オフィスにいたとき——

400以上の主要都市、

アフリカを含め、世界中から招きの声が届いていました。

それでも私は今、ここにきています。

なぜなら——

あなたがたが主イエスをもっと愛せるように、

そのお手伝いができるかもしれないと感じたからです。

私は信じています。

ここにいる誰一人として、

正気な心を持って、進んで地獄へ行きたいと願う人などいない——

そうでしょうか？

誰もが、天国に行きたいと願っている。

——あなたも、あなたも、きっとみんなそうです。

私は、あなたの心が良いことを知っています。

私は、お金を得るために来たのではありません。

お金は受け取りません。

人気を得ようと来たのでもありません。

ただひとつ——

あなたがたへの愛、そして神の愛が、

私の心にあつたからこそ、私はここに来たのです。

私は知っています。

いつか、神の御前のさばきの座に立つ時が来る。

その時私は、今日ここで語った言葉のすべてについて、
神に申し開きをしなければならないのです。

12 正直に言えば――

今夜私は、自分の妻と二人の小さな娘たちと一緒に家にいたいのです。

けれども、説教できる場所は、世界中に何千とあります。

私は、つい先日まで10日間のリバイバル集会を終えたばかりです。

そこには、4万2千人もの人々が集まりました。

それでも、私は今ここにきています。

――あなたを助けるためです。

そしてもし、私がこの場所で、主イエスを正しく証しているのであれば――

私が世界中を旅してきた中で、

人々が拝んでいる“異教の神々”を数多く目にしてきました。

今、ここにおられるあなた方は――

カトリックの方も、ルーテル派、バプテスト、ペンテコステ派、そしてその他の教派に属しておられるかもしれませぬ。

けれど、大きく見れば、皆さんは同じ神を礼拝しておられるのです。

しかし、この世界には――

ムスリム(イスラム教徒)たちもいます。

彼らは、イエスをキリストとしては信じていません。

また、仏教徒、シク教徒、ジャイナ教徒――

そしてその他にも、何百という宗教がこの世には存在します。

13 つい最近のことですが、アフリカでは――

何千人もの人々が、血の付いた偶像を胸に抱いて集まって来ていました。

彼らは、それを本気で信じていたのです。

――その真剣さは、私たちクリスチャンよりも遥かに強い
かもしれません。

インドのガンジス川のほとりでは、

母親が、自分の小さな黒い赤ん坊をワニのいる川へ投げ込み、

自分の神々へのいけにえとするのです。

――それほどまでに、彼らは本気なのです。

インドでは、釘の上に寝たり、火の中を歩いたりします。

中国では、足を砕き、舌を割き、体を傷つけ、仮面をかぶるように

自分を偽ります。

神を求めて、そこまでのことをする——

しかし、それでもなお、それらすべての中に“いのち”はありません。

このように多くの「神々のかたち」が世界に存在していますが——

キリスト教だけが、真の宗教なのです。

彼らの多くは、偶像を礼拝しています。

たとえ「聖典」のような書物があっても、そこには“いのち”がありません。

そして——

もし私たちクリスチャンから“聖霊”が取り去られてしまったならば、

私たちもまた、彼らと何ら変わらない存在となってしまうのです。

すべての異教の創始者たちは——

死んで、葬られ、そして今も墓の中にいます。

しかし——

イエス・キリストは、死からよみがえられたのです。

主はこう言われました：

「わたしは、あなたを決して離れず、あなたを見捨てることはない。

わたしはあなたと共にいる。」

——そしてその主は、今夜も、復活の力をもって、ここにおられます。

私は、それを知っています。

そして私は、あなたにも信じてほしいのです。

14 さて、今ここにおられる皆さんにお尋ねします。

もし主イエスが今夜、私たちの上に油を注ぎ、

この地上におられたときと同じ御業をなさってくださいるなら——

あなたは、イエス様を救い主、そして主として受け入れますか？

そして、良い教会に加わり、残りの人生を主のために生きると、

天の大いなる神に約束されますか？

もしそうであれば、その意思を込めて、手を挙げてくださいますか？

ありがとうございます……ありがとうございます。

今夜、皆さん、よくお聞きになれていますか？

このあたり、ちゃんと聞こえていますか？

もし聞こえていれば、どうか手を振ってください。

こちら側、どうですか？

今の方が、聞きやすくなっていますか？

もしそうなら、手を振って教えてください。

—はい、中央のあたりですね。

では、今度は私の右側の方々。

私と通訳者、両方の声ははっきり聞こえていますか？

もし聞こえていれば、手を振ってください。

—ありがとうございます。

では、左側の方々——

彼と私、両方の声が聞こえていますか？

—はい、ありがとうございます。

中央の方々はどうでしょうか？

私たち二人の声が聞こえていれば、手を振ってください。

ありがとうございます。

—**だいぶ聞きやすくなったようですね。**感謝します。

15 兄弟たちは、今日一日中ここでずっと音響や会場の準備に取り組んでくれていました。

このような国に突然入ってきて、

しかもこの規模の集会の設営にはあまり慣れていない場合、

本当に大変なことなのです。

けれども私は、皆さんがきっと私たちに協力してくださると信じています。

さあ、こちらを見てください……

—え？聞こえませんか？

何とおっしゃいましたか？

—まだ聞こえていない？

それでは、ちょっとこちらに向きを変えてみましょう。

これでどうでしょうか？聞こえるようになりましたか？

—手を挙げてください。

—はい、今の方が聞こえやすいですね。

良かったです。

明日も、彼らは引き続き調整を続けてくれます。

これは私たちでは完全にコントロールできない問題もあります。

けれども、私はここにいる皆さん一人ひとりに、心から感謝を

申し上げたいのです。

クリスチャンの兄弟として——

こうして、私たちの働きに協力して下さり、

この困難な時にも辛抱強く共に立ってくださっていることを、
本当にありがたく思っています。
彼らも、できる限り最善を尽くして準備を整えようとしてくれています。
そして、今週の終わりに向かって、さらに人々が集まってくるようであれば——
私は主催者に、スタジアムの使用をお願いしようと思っています。
あそこは、音響がより良いと思います。
——神様が、あなたに豊かな祝福を注いでくださいますように。

16 お祈りいたしましょう。

愛する主よ、どうか今、私たちを助けてください。
私たちは今、あなたを切に必要としています。
どうかこのすべてのことにおいて、
私たちを導き、助けてください。
私たちは願います——
すべてのあなたの子どもたちが、御言葉をしっかりと聞くこと
ができますように。
その意味を、はっきりと彼らに示してください、父よ。
主イエスのお名前によってお祈りします。アーメン。
さて、皆さん——
もうしばらく、心を落ち着けてお待ちください。
今夜、イエス様がここにおられ、
このプラットフォーム(壇上)にご自身を現してくださるなら——
皆さん、どうか心を開いてお受け取りください。
ここで主がなさることは、
あなたのいるその場所でもなされたいと、
主が望んでおられることなのです。
ここで主がなさることは、
「皆に同じように行われなければならない」という“しるし”
ではありません。
——分かりますか、クリスチャンの友よ？
ここでの御業はただ一つ、
「イエス様がここにおられる」ことをあなたに知らせるためなのです。
主は、あなたひとりひとりをご存じです。
あなたが今まで食べてきたすべての食べ物を、

主が備えてくださったのです。

そして、もし主がここで「ご自身がここにおられる」ことを表してくださるなら——

どうか、その主を心から受け入れてください。

もしあなたが心から信じて受け入れるなら——

この列に並んでいる病の人々すべてが、今夜、癒されてこの建物を出ていくことができるのです。

私自身には、その力はありません。

私は、ただ主を代表しているにすぎません。

すべては——

「あなたの信仰」がイエス様に向いているかどうかです。

イエス様は、こう言われました：

「あなたの信仰が、あなたを癒したのです。」

17 イエス様はこうおっしゃいました——

「わたしが彼らを癒した」とは言われなかった。

「彼らの信仰が、彼らを癒したのだ」と。

ナタナエルが主のもとに来たとき——

イエス様は、彼に会ったことすらありませんでした。

けれど、主は彼をご覧になり、こう言われたのです：

「見よ、まことのイスラエル人だ。この人には偽りが無い。」

もし今夜、ここスイスでこの出来事を語るなら——

私はこう言うでしょう：

「ここにひとりの正直な人がいる。信じる者である。」

ナタナエルは驚きました。

その小柄な男の方が、自分を一度も見たことが無いのに、

自分が“正直な信者”であることを知っているとは——

そして彼は尋ねました：

「先生(ラビ)、いつ私をご存じだったのですか？」

するとイエス様はおっしゃいました：

「ピリポがあなたを呼ぶ前に、

あなたが木の下で祈っていたのを、わたしは見た。」

その瞬間、ナタナエルは答えました：

「あなたこそ、神の子です。」

あなたこそ、イスラエルの王です。」

18 しかし——

ユダヤ人たちはなんと言ったでしょうか？

彼らはこう言ったのです：

「あの人は大きな悪霊につかれている者だ。ベエルゼブルだ。

人の心を読んでいるだけだ。」

——なぜなら、彼らは教会内での自分たちの人気を失うことを恐れていたからです。

親愛なる友よ、

どうか今夜、あなたはピリポやナタナエルのような立場を取ってください。

それが本当に主であることを、どうか認めてください。

イエス様が最初によみがえられた時——

主は、二人の弟子と一日中一緒に歩いておられました。

そしてずっと話をしておられたにも関わらず——

彼らはそれが主だと気づかなかったのです。

クリスチャンの皆さん——

あなたも、これまでに何度もイエス様があなたと共に歩いてくださっていたのに、

気づいていなかったことがあるのではないのでしょうか？

しかし、彼らがイエス様を家に招き入れた時——

扉が閉まり、ただ彼らとイエス様だけになったその時、

イエス様は、ご自身にしかできない、特別なことをされました。

——そしてその瞬間、弟子たちは気づいたのです：

「ああ、あれはイエス様だ！」

そしてイエス様は——

その場から姿を消されました。

この箇所を読んだことがある方は、どれくらいいらっしゃいますか？

——手を挙げてください。

はい、ありがとうございます。たくさんの方がご存じですね。

19 今夜、イエス様がここにおられるのなら——

どうか、あなたの心の中に主をお迎えしませんか？

静かに「どうぞ入ってください」とお招きしてみてください。

そして——

“ただの人間”とは違う、何か特別なことを主がなさるのを見てください。

そのときこそ、主を受け入れてください。

そうすれば、あなたは「罪」から癒されるのです。

ここで言う「罪」とは――

不信仰のことです。

不信仰が、ただひとつの罪なのです。

人は、信じていないからこそ、悪を行うのです。

逆に、信じているからこそ、良い行いができるのです。

つまり、根本には「信仰」か「不信仰」、そのどちらかしかありません。

さて、今夜はどの祈りのカードが配られましたか？

――Bですか？

スタッフの青年たちが言っていました――

今夜は祈りのカード「B」が配られたとのことでした。

今、祈りのカードをお持ちの方は――

ポケットや聖書から取り出して、手に持ってください。

「B」の文字が印字されていますね。

昨夜は「A」でした。

今夜は「B」です。

20 さて、誰がプレイヤーカードB-1を持っていますか？手を挙げてください。B-1？大丈夫です。祈りのカードB-1。ここまで、聴衆の中まで。よし、B-1、ここに来なさい。祈りのカードB-1。一度に1つずつ呼び出すだけで、混乱はありません。よし、B-1。そして今、それが来ている間、ちょっとお話ししましょう。大丈夫です。

さて、私たちの主イエス、ここにいます...そして今、誰かが主イエスがいたプラットホームに来たらどうなりますか？そして、もし誰かが...誰かが「イエス様、私を癒してくれませんか？」と言ったらどうしますか？

イエスは何と言いますか？質問したいのですが。彼は「はい、私はあなたを癒することができますか？」と言うのでしょうか？彼はこう言います。「いいえ。私は1900年前にあなたのために死んだときにそれを行いました。」

それが一番ですか、一番ですか？

さて、Bナンバー2、あなたは立ち上がって前に出ますか？大丈夫です。3番、B-3、B-4、B-5、手を上げて手を振ると、私たちがそれを見ることができます。B-6、手を挙げてください。B-7、手を挙げてください。

友よ、あなたが祈りの列に来たくないならば、祈りのカードを受け入れないでください。お互いに交換することはできません。あなたは自分のカードを受け取りに来て、指示を聞かなければなりません。他人に持ち出すことはできません。自分のカードを持っている必要があります。誰とでも変更しないでください。それはラインで引き返されるでしょう。自分のカードを持っている必要があります。誰でもカードを持つことができます。

21 さて、8番-B番8番、9番、10番、11番、12番、13番、14番、15番、16番、17番、18番、19番、19番、20番、21番、22番、23番、24番、25番、25番。それは私たちが一度に列に並ぶことができるのと同じくらいの数です。

ここに座っているあなたに、明日の午後早くに来て、あなたの愛する人を持ってください。祈るために、あなたに祈りのカードを手に入れるために早く来てください。

さて、あなたは一日中いつでも診療所に行きます、イエス様に会いに来てみませんか？ 私たちの最愛の医者はおそらく彼らができるすべてをしたでしょう、今あなたはイエスを信頼しなければなりません。

さて、ここで病気で祈りのカードを持っておらず、イエスにあなたを癒してほしいと願っている人は何人いますか？手を挙げてください。ありがとうございます。ちょうど約2000以上。

さて、あなた方一人一人は今夜元気になりたいと思っています、そして彼の僕として私に耳を傾けてください。私はあなたに真実を話します。あなたは私に目を向けません。私が話している人、神の御子イエス・キリストに目を向けてください。あなたは彼に目を向けます。そして、あなたがそれをしている間、あなたはそこで祈り始め、「神様、今夜私の信仰を確認してください。そして、ブラナム兄弟が振り返って、私が人生で何をしたか、または私が癒されない理由、または私が何をすべきかを教えてくれるなら、私はそれを受け入れます。」

22 私がそれを言う理由、クリスチャンの友達、彼はその夜、彼が私のそばに立っている間に私に言った…そしてそれは真実です。それは世界中で宣言されています。私は貧乏人で、教育を受けていません。しかし、私が生まれたとき、私の祖先はカトリックで、アイルランドから来ました。そして、私が生まれたとき、私が生まれた小さなベビーベッドの上に大きな光がぶら下がっている光がありました。私の父と母はほとんど気を失いました、そしてそれは私の人生のすべてが私と一緒にでした。

私は23歳くらいになるまで教会に行きませんでした。しかし、彼は私を導き、これから起こることを教えてくれました。そして、ある夜、私が祈っている間に、この光がここに来て、その光の中を歩いている偉大な人がいました。彼の肩まで黒い髪、滑らかな顔、白いローブを着て、彼の腕はこのように折りたたまれました、そして彼は私に言いました…その時私は怖がっていました、そして彼は「恐れるな」と言いました。

23 小さい頃からその声を聞いていましたが、今まで見たことがありませんでした。彼が話しているとき、私はそれを旋風のような形で見ました。彼は言いました、「私はあなたが病気の人々のために祈るべきであるとあなたに言うために神の臨在から送られます。世界中にあなたが送られ、大きな奇跡が起こります。」「人々にあなたを信じさせ、そしてあなたが祈るときは誠実になってください。そうすれば、あなたの祈りの前に病気が立つことはあり得ません。」と言いました。

私は「サー…」と言いました。さて、それはビジョンではありませんでした。私がここに立っているのと同じように、その男はそこに立っていました。私はビジョンが何であるかを知っています。これはビジョンではありませんでした。そして彼は言いました…私は言いました、「先生、私は私の人々の中に住んでいます。」私は言いました「私は教育を受けていません 行けませんでした。」

彼は「あなたは王と君主のために祈るでしょう」と言いました。そして、私は持っています。私は4人の異なる王のために祈りました。素晴らしい兆候と不思議。

そして私は、「彼らは私を信じないでしょう、サー」と言いました。

24 彼は言った、「モーセの預言者が私から送られたことをイスラエルに証明するためのしるしを与えられたので、あなたに与えられたしるしもあります。」「あなたは人々の病気、彼らが何を持っているかを知るでしょう」と言いました。そして、「彼らがそれを信じないなら、あなたは彼らの心の秘密を知るでしょう」と言いました。

私は言いました。「それはいつも私を困惑させているものです。私の牧師の兄弟はそれが間違っていると断言しました。」

そして彼はその時まっすぐに話しました。彼は言いました、「それはイエスの最初の到来の時と同じように、次の時もそうです。大臣たちは彼らの訪問の日を知りませんでした。」それから彼は聖書の聖書を参照して、それがイエスがしたことであることを示しました。彼は「私はあなたと一緒にいます」と言いました。

私は「行きます」と言いました。そして、私は行きました。

25 何万人もがいて、何千人もの人々が救われ、癒されました。私が今夜死んで、これが地球上での最後の夜であるならば、私の言葉は真実でした。科学界はそれの写真を撮りました。ここにあります。そして、そ

これはここワシントンDCの宗教芸術ホールで証明されています。これまでに機械で撮影された唯一の超自然的な存在です。そして、教会は世界中でそれを知っています。あなたの心を開いてください、そうすればあなたも見るとでしょう。

私たちの父よ、私たちは今あなたにあなたの謙虚な僕と一緒にいて、人々の目に恵みを与えて、あなたが神の子イエス・キリストであり、私があるあなたの僕であることを彼らが知ることができるようにお願いします。イエスの名において。アーメン。

(今、今、ただ注意してください。)

26 それは非常に難しいです、通訳によるサービスのこの部分。彼が解釈するのが待ちきれません。それは油注ぎです。どこに行くのかさえ分かりません。ビジョンを見るために。本当に敬虔になり、席を離れないで、このように見てください。彼らは私が長く滞在することを許しません。心から信じてください。

さて、ここに私の前に男が立っています。私は人生で彼に会ったことがありません。私たちはお互いに見知らぬ人です。それが正しければ、手を挙げてください。さて、今そこにいるイエス・キリストとその人自身が何かが起こっていることを知っているなら。彼は自分が兄以外の何かの前にいることを知っています。もしそうなら、手を挙げてください。聴衆がこの前に立っていてくれたらいいのにとおもいます。彼らが話すその光は、今私とその人の間に落ち着いています。それはイスラエルの子供たちを導いたのと同じ火の柱です。

さて、もし神がこの男を明らかにされるなら……さて、もしその男がイエスの前にここに立っていて、彼が私にくれたこのスーツを着ていて、あなたが「イエス、私を癒してほしい」と言うなら。

イエスはあなたに「私は死んだときにそれをしました」と言われました。彼はこう言います「あなたはこれを信じますか？ 癒しと救いのためのすべての救いはカルバリーで行われました。」

27 私があなたに話している理由は、イエスが井戸で女性に話しかけたのと同じ理由です：彼が彼女の問題を見つけるまで。それから彼は彼女に彼女の問題を話しました、そしてそれは…彼女がそれを乗り越えるかどうかにかかわらず、彼女がそれについてどう思ったかに依存します。

この聴衆は、もし神がその人が何のためにここにいるのかを明らかにするなら、あなたは私がイエス・キリストについての真実をあなたに話したと心から信じますか？ もしそうなら、手を挙げてください。ここに沿ってくれませんか？

これはあなたの兄弟の一人です、そして私は彼を知りません。しかし今、その男は私から動き始めています。その男は私から引っ越してきて、彼は問題を抱えています、そしてそれは彼の側にあります。それは癌です。それは死、殺人者です。そして彼は検査を受けました。そして、検査は癌が彼の側から、また肝臓に行き、そして彼が死にかけている状態にあることを示しました。それは本当です。それは癌です。さて、あなたは神を信じますか…それは本当です。もしそうなら、手を挙げてください。あなたは今信じますか？

28 さて、彼から隠すことのできるものは何もありません。その声は何であれ、ほんの少し前に話したとしても、それはあなたの兄弟ではありませんでした。それは私の声を使ったイエス・キリストでした。さて、それはそれに対する男のアプローチに依存し、彼がそれについてどう考えるかが、彼がそれから何を受け取るかを決定します。

もしここにあなたを知り、あなたの状態を知り、それが真実であると知っている力があるなら……あなたがそれをイエス・キリストであると信じるなら、彼がまだ存在しているなら……これらのしるしは信じる者に従うでしょう：彼らが病人に手を置くならば、彼らは元気になるでしょう。あなたはそれを信じますか？ どうぞお越しくください。

偉大なる天の神よ、あなたの憐れみがこの人にかかっていますように。私がこれをするとき、彼に彼の体の癒しを与えてください…そしてこの癌を非難してください、彼がここから幸せで喜びに満ちて行き、イエスの名において神を賛美し、癒されることができるよう。アーメン。

さて、別の感覚があります。それはなくなりました。そうです。癌は死んでいます。行って、神はあなたと一緒にいてください。

神を信じなさい。がんとは？ 腫瘍とは何ですか？ それは人生です。それはあなたの人生ではありません。それはあなたの命を奪う悪魔の命です。

29 さて、私の前に立つ女性は見知らぬ人です。私たちはお互いの言語を話すことはできません。私はあなたに会ったことがありません。そして、私は聖霊が私たちの間に来て、何が起きているのかを知っているので、聖霊によってこれらの言葉を言うだけです。それが本当なら、手を挙げてください。私が神の預言者であると信じますか？ あなたが今持っているその感覚は神のものであり、あなたは神の御前に立っていると信じますか？ それから私を見てください。

素晴らしい建物が見えます。それは病院です。白髪の女性が胸を手術しました。そして、乳房の癌。医者は部屋にいて、彼らの顔に物を持っていました、そしてあなたは病院から送られました。そして今、あなたは別の医者に戻り、もう一方の乳房に別の癌が見つかり、神が何かをしない限り、もう一方の乳房を失う可能性があります。神があなたを癒してくれると信じますか？

親愛なる天のお父様、私たちの姉妹に死が訪れました。そして、あなたの最愛の僕、医者は彼らができるすべてのことをしました、しかし彼らは失敗しました。悪魔は彼らから隠れました。

ああ、今助けてください、親愛なる神よ、それはあなたの言葉で書かれています、「私の名前で彼らは悪魔を追い出すでしょう」。

それから、癌と呼ばれる古いサタン、あなたは医者と彼のナイフから隠れたかもしれませんが、あなたは神から隠すことはできません。イエス・キリストの名によって女性から出て来なさい。アーメン。

行って、喜んで。週の終わり、あなたの状態、それらがどうなるかを私たちに報告してください。

あなたは...あなたは行くつもりです...覚えておいてください、もし彼があなたの人生に何があったかを知っているなら、彼は何が起るかを知っているのです。あなたは本当に違う、本当に良いと感じるでしょう。3日72時間で、あなたは本当の病気になります、本当の病気になりますが、疲れなくてください。あなたの癒しを証し続けてください。神はあなたと共におられるでしょう。

30 主はほめられます。そして人々は「主を賛美しなさい」と言いました。神は崇拜されるのが大好きです。

その女性は見知らぬ人です。そうです。私はあなたのことを何も知りません。私が彼女と話をすればするほど、主イエスはより多くのことを明らかにするでしょう。しかし、列に並んでいる人々のために、神があなたがここにいる理由を教えてくれるなら、あなたは彼をあなたの癒し手として信じますか？ それから私があるあなたのために彼に会いに行く間、敬虔になってください。

あなたは医者による検査を受けています。彼らはあなたを手術したいと思っています。そして、あなたは胃と肝臓に問題があります。胆嚢に問題があります。そして、医者は手術をしたいのですが、あなたは手術を受けたくないのです。そしてそれがあなたがここにいる理由です。そして、あなたは...あなたはこれに来る機会が得られるように祈っています...あなたがこれのために祈ったときあなたは部屋にいました。そして、あなたが呼ばれたとき、あなたは幸せで、本当に幸せでした。それは本当です。あなたの信仰があなたを救いました。主イエス・キリストの名において、私はあなたを病気にするこの敵を、イエスの名において...イエスの名において追い出しました。

祈り続けなさい。

31 信じますか？ 起きないでください。あなたは邪魔をしています。起きないでください。それは非常に不遜です。

主イエスがあなたを元気にしてくれると信じますか？ あなたは自分の側で何かに苦しんでいます。それは成長です。それはあなたの左側にあります。あなたはそれが癌だと恐れています。あなたは私があるあなたのために祈るために来ます、それがあなたを去って去ってしまうように。それは本当です。

ああ、天と地の創造主である主なる神は、イエスの御名によってこの女性にあなたの祝福を送ってください。アーメン。

行ってください、そうすれば神の平安があなたにあります。

心から信じますか？ もしイエス・キリストが今夜生きているなら...私はあなたを癒すことができませんでした。私はただの男です。そして、あなたは癒しのためにここにさえいないかもしれません。あなたは何か他のもののためにここにいるかもしれません。私には知る方法がありません。しかし、真実であるイエスは

知っているでしょう、そしてそれは完全に正しいでしょう。そして、もしそうなら、ただ信じてください。

あなたは心臓に問題があり、手術を受けることになっています。そして、それは胆石[不明確な言葉]のためのものです。あなたはそれを乗り越えたいですか？ イエスを受け入れなさい。そして、私は彼女が癒されるように、イエスの御名によって彼女に手を置きます。アーメン。神はあなたを祝福します。

32 あなたは彼を信じますか？「アーメン」と言います。

ここにいてあなたはどうですか？ 心から信じていますか？ あなたは何を知っていますか？ これはあなたには不思議なことだと思います。わかりません。私はあなたを呼びだしていませんが、あなたは超自然的なことを教えられたことがありません。あなたはそれを理解していません。同じ光が私に油を注いでいて、私がここに立ってから2、3回その聴衆を演じてきたので、あなたはそれに移動しません。あなたは今、あなた方一人一人が立ち上がって癒されるべきです。彼はここにいます。あなたはそれを受け入れる必要があります。

33 さて、ここに立っているこの女性を見てください。元気になりたいですか、レディ？ 神があなたの何が悪いのかを私に知らせてくれるなら、あなたはあなたの癒しを受け入れますか？ 胃に問題があります。そうです。もしあなたが主イエスを信じるなら、食べに行きなさい。アーメン。神はあなたを祝福します。大丈夫です。

そこに座って私を見ているおばあさん。誰もが今それを見ることができるように見えます。そこに座っているこの白髪の女性の上に光がぶら下がっています。彼女は関節炎に苦しんでいます。起きなさい、レディ。この前に座っているおばあさん。あなたが信じることができるなら！ その女性はあなたのすぐ後ろであなたの祝福を受けました。救い主は...全体を作りました。

ほら、あなたはそれが恋しいです。あなたは忘れます、友達。これを手に入れてほしい。あなたは神の御霊を悲しませませう。このように見て、注意してください。あなたの伝統を忘れてください。主イエスはここにいます。認識できませんか？ あなたは霊的に死んでいるでしょう。私はあなたに厳しく話しているわけではありませんが、その不信仰の精神をあなたから遠ざけようとしています。

34 その喘息の状態を乗り越えたいですか？ この前で手を挙げてください。さあ、行って、喜び、神に感謝し、神を賛美します。行きなさい。アーメン。

ああ、この教会はどうしたの？ 私の人々、これがアフリカにあるなら、これがアメリカにあるなら、これがスウェーデンにあるなら、これらの人々は車椅子から立ち上がって、すべてがここから離れて歩いているでしょう。あなたは牧師から正しく教えられていません。あなたはこれがエホバ神の臨在であることに気づいていません。

その胃のトラブルを乗り越えたいですか？手を挙げてください。あなたはイエスを信じますか？ あなたはあなたの癒しを受け入れますか？ 家に帰って食べなさい。アーメン。神はあなたを祝福します。

信じますか？ 心臓のトラブルを乗り越えたいですか？ それから喜びの道を進みなさい、そうすれば主はあなたを祝福されます。アーメン。

「神に感謝します」としましう。見てください。

レディ、あなたの周りには闇の精神があります。それは死の霊です。あなたは癌を患っています。あなたは元気になりたいですか？手を挙げてイエスを受け入れてください。彼は存在しています。

イエス・キリストの名において、私は癌と呼ばれるその悪魔を叱責します。女性を残してください。彼女から出てきなさい。

行って、喜び、神を賛美しなさい。アーメン。

35 信じますか？ あの小さな男の子と一緒にそこに座っている女性、あなたは私が神の預言者であると信じますか？ その少年はてんかんに苦しんでいます。そうです。手を挙げてください。さて、あなたは神が真実であることがわかります、そしてイエス・キリストの御名によって、それが少年を去りますように。信じて行きなさい。「アーメン」と言いましう。

あなたは胃のトラブル、そして女性のトラブルも乗り越えたいですか？ 家に帰って食べなさい。イエス

はあなたを元気にしてくれます。神はあなたを祝福します。神はあなたを祝福します。

あなたは全能の神の前にいると信じますか？彼のしもべに？あなたは神経質な問題を抱えており、横になると心臓が鼓動します。そうです。それは...それは心臓の問題ではありません。緊張した心です。喜んであなたの道に行き、イエスを受け入れ、元気になってください。イエスの名において。そうです。神はあなたを祝福します。

信仰を持ちなさい。ちょっと待ってください、近くに聴覚障害者の霊がいます。ここにいます、この人に。誰もが頭を下げ、私が話すのが聞こえるまで頭を上げないでください。なぜなら、彼はできるのです...それは聴覚障害者の精神であり、私たちはそれを彼から離れさせなければなりません。ですから、耳が聞こえなくなつたくないのなら、私の声が聞こえるまで頭を上げたり、このように見たりしないでください。

36 神を賛美しなさい、エホバ、私はここにいます、見知らぬ人、主よ。しかし、あなたは神です、あなたはすべてのことをすることができます。さて、私は敬虔にあなたのところに來ます、そしてあなたがこの聴覚障害者の霊をこの人から去らせてくれることを祈ります。悪魔はこれをしたので、彼は車の前に足を踏み入れ、彼の時間の前に殺されました、しかしあなたは彼を受け入れるためにここにいます。ああ、すごい神よ、私の祈りを聞いて、この悪を彼から去らせてください。そして、私が謙虚な僕としてあなたのところに來て、イエスの名によって尋ねるとき、今、あなたの耳が聞こえない霊、私は主イエス・キリストの名によってあなたを裁き、彼から出て來るようにと言います。(頭を下げ続けるように言ってください。)先生、今私の声が聞こえますか？大丈夫です。

頭を上げてください。これを聞いてください。(先生、あなたは癒されました。)頭を上げてください。その男は癒されます。「こんにちは」と聞いてください。サー、神を賛美しなさい。あなたは癒されます。喜んで、あなたの道に行きなさい。

これは女性ですか？主よ、あなたの霊がこの女性にあり、彼女を完全なものにしてくださいますように。イエスの御名によって私はそれを尋ねます。アーメン。神はあなたを祝福します。行ってください、そしてイエス・キリストがあなたを[不明確な言葉]にしてくださいますように。

天国にいる神、主をほめたたえよ。すべての力が主に与えられます。

37 ちょっと待ってください。ここに...この聴覚障害のある女性もいます。頭を下げてください。

親愛なる神様、この女性に私は祝福を宣言します。あなたの憐れみを彼女に來させてください。そして、私はあなたが彼女を元気にしてくれることを祈ります。これをイエス様の御名でお願いします。それを許可します。アーメン。

その女性は、彼女の目には悪くなっています。出てきなさい。大丈夫ですか？私の手が見えますか？私の指が見えますか？私の指を数えてもらえますか？私の手が見えますか？ここに私の手が見えますか？さあ、手を置いてください...私の鼻に指を置いてください。あなたは癒されます。あなたは回復しました。

あなたは眼球が硬化していて、彼らは盲目になっていた。ちょうど私の手の周りのひものように、それは私の手を死に至らしめるでしょう。聴覚障害者のように。あなたは理解できません...医者は理由を理解できません。神経がちょうど死んだ。彼が取り組むことができる唯一のことは、彼が見たり感じたりできることです。彼は神経がそこにあることを知っていますが、なぜそれが死んだのか分かりません。

聖書はそれが霊、聴覚障害者の霊、盲目の霊であり、それが循環を遮断すると言っています。そして、ひもが解放されると、あなたはそれが良くなっていることを知っています。なぜなら、精神がそれからなくなったからです。今、あなたはよりよく見ることができます。そうじゃないですか？手を挙げてください。よく聞こえたら手を挙げてください。さあ、あなたの道を進んで、喜び、元気になってください。

38 信じますか？癒されたいですか？あなたは心臓に問題があります。あなたはイエスがあなたを元気にして欲しいですか？行くだけで、イエスはあなたを元気にしてくれます。信仰はありますか？信じますか？

聴衆の中に出てみませんか？あなたはそこを信じますか？このように見てください。このように見てください。信じなさい。私には、あなたはそれを見ることができるように見えます。ここで光が一周しているのが見えませんか？ここにいるのは16歳くらいのこの小さな男の子の上にぶら下がっていて、ちょうど最後に座っています。彼は頭痛を抱えています。すぐそこに。そうです、若い男。はい。信じますか？もしそうなら、立ち上がってください。起き上がる。あなたの信仰があなたを癒してくれました。神はあなたにアーメンを

祝福します。

39 このように見てください。信じなさい。私は女性を見ます。光が彼女の真上にぶら下がっています。それはイスラエルの子供たちを導いたのと同じエホバ神です。彼女は胃の成長に苦しんでいます。彼女は病院に行ったことがあり、彼らは彼女を断りました。彼女は血圧が高いので、彼らは彼女を手術することができません。信じますか、レディ？ そして、あなたはそれを心から受け入れますか？ 次に、神に賛美と栄光を与えます。それだけです、レディ。立ち上がってください。イエス・キリストはあなたを完全にします。

ここはこれらの人々のいたるところにあります。信じますか？ これがあなた方一人一人が癒される時です。私が神の預言者であると信じますか？ 私が真実を言ったと思いますか？ 神がここにいると信じますか？ それから私があなたに言うことをしてください。

神の御霊がここにいる間、お互いに手を置いてください。お互いに手を置いてください。お互いに手を置いてください。準備してください。これはあなたが素晴らしいものを見ようとしている時です。

40 全能の神、イエスの名において、悪魔はさらされています。そして、イエス・キリストは生きて統治します、そしてあなたはこの祈りの列で勝利を得るのです。そして、あなたのしもべとして、私はすべての悪魔を非難し、叱責します。

あなたは疑いの悪魔よ、これらの人々から出てきなさい。私はイエスの名において、彼らから出て来るようにあなたを裁きます。

あなた方一人一人が立ち上がるのです。どこでも立ち上がってください。イエス・キリストはあなたを元気にします。



www.messagehub.info

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおりに、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7